

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名: 居宅介護支援事業	2-24
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他) 複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)	1

担当部課 保健福祉部地域包括支援センター	直通電話 72-7017
担当部長 鎌田 英暢	担当課長 田森 正廣
	担当者 浅野 貴雄

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	介護認定者、要支援1・2の認定を受けた者が心身の機能を維持・改善し、できる限り自立した生活を目指すための介護予防サービスが適切に行われるようにする。		
(2)事業開始年度	平成18年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	自立支援サービスの充実	
	施策コード	20201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	高齢者が生涯にわたって元気で生きがいのあるライフスタイルを築く事が出来、安心して暮らすことが出来るようにする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	介護保険要介護者・要支援者の心身機能の維持・改善をする。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	居宅を訪問して実態を把握した後、ケアプランを作成し、在宅生活を支援する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	浜益区・厚田区地域は居宅介護支援事業所の新たな事業所の設置が見込めないことから、直営の本事業は継続が必要である。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)		2,150	1,726	2,719
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)		4,143	4,486	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	0	6,293	6,212	
事務に従事した正職員延べ人数		0.50	0.50	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入						出					
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
介護認定者ケアプラン作成件数(延件)	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		980	638	
	達成率		-	-	
要支援者ケアプラン作成件数(延件)	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		389	571	
	達成率		-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
要支援維持・改善者数(人)	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		53	48	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	事業の成果と施策の成果とに関連があるか
その事業に市が関与する必要があるかどうか			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			イ 成果
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	事業の成果は目標を達成しているか
コスト削減は可能か			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(3) 公平性			ウ 事業内容
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か
さらなる受益者負担は可能か			1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
		(1)~(4)の評価ポイント合計	
		総合評価の参考にしてください。	
		7~11	A or B
		12~15	B or C
		16~21	D or E
		13	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	ケアプランの作成により、要支援者については、一定の維持・改善が見られる。また、介護認定者についても一定の成果が上がっているものと判断している。	
(2) 今後の方向性・課題		要介護者等の維持・改善の観点から引き続き本事業を継続していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	要介護者に対する介護サービスの提供など、サービスプランの作成や助言を適切に実施している。	
(2) 今後の方向性・課題		現在、居宅介護支援については、民間事業所が主力となっているが、市内において、民間が参入していない地域もあることから、当面、直営事業として継続していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		